



## 予備自衛官招集5日間訓練を支援



自衛隊東京地方協力本部（本部長 横田陸将補）は7月5日から9日までの間、第1偵察戦闘大隊が朝霞駐屯地にて実施した令和6年度第5回予備自衛官招集5日間訓練を支援した。本訓練には130名の予備自衛官が出頭し、体力測定・射撃検定、駐屯地警備訓練等が実施される中、東京地本は出頭確認及び予備自衛官との面談を実施し、予備自衛官一人一人の親身な身上把握に努め、次年度以降の出頭意欲の高揚に尽力するとともに、有事の際に運用する応招確認システムへの登録を促し、即応性の維持向上に努めた。

訓練参加者からは「教官助教の質が高く素晴らしい」「訓練の各課題、工夫を凝らした内容が良かった」「等、良好な所見が多く寄せられていた。

東京地本は、今後も予備自衛官招集訓練を支援し、予備自衛官及び部隊との連携強化に努め、予備自衛官制度の充実・発展に努めていくとしている。

## しながわ夏の恒例行事！ 品川区大井どんたく夏まつりに参加

自衛隊東京地方協力本部五反田募集案内所（所長 野澤2陸尉）は8月24日及び25日（日）、品川区大井町駅前中央通りで開催された「第70回大井どんたく夏まつり」において、第1普通科連隊及び第1音楽隊の支援を受けて広報活動を実施した。

このまつりは、昭和29年に戦後荒廃した大井町を復興させるために東京の名物を創ろうと開催されたのが始まりで今では夏の恒例行事として区民に親しまれている。

当日、会場ステージでは第1普通科連隊ラップパ隊によるファンファーレで幕が開き、オープニングを飾ったのは第1音楽隊6名によるバンド演奏。演歌からスタンダードジャズまで様々なジャンルの曲を抜群の歌唱力と演奏技術で聴衆を魅了し、そのリズムの良さに同じステージに立つプロミュージシャン達も脱帽していた。装備品展示では、普段触れることのない自衛隊車両に多くの質問が飛び交い、記念撮影をするため長蛇の列ができるなど、来場された多くの方に自衛隊を「見て・聴いて・触れる」絶好の機会となった。また、五反田募集案内所が設置した広報ブースでは品川区募集相談員の協力を得て、VR視聴、制服試着、東京地本のマスコットキャラクター「トウチ君」との記念撮影コーナーを開設するなどイベント開始から終了まで活気溢れる広報活動を行った。

来場者からは「音楽隊の演奏が格好良く、とても感動した。」「普段自衛官と接する機会がないので、気さくな隊員さんの姿に接し親近感を覚えた。」「猛暑にもかかわらず隊員さんの明るく凛冽とした姿を見て、とても頼もしく感じられた。」等の好意的な声が聞かれた。

五反田募集案内所では、今後も地域に密着した募集・広報活動を部隊等と連携しながら実施し、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高めるため、自衛官募集業務に繋げるとしている。



## 昭島市民くじら祭で自衛隊の魅力発信



自衛隊東京地方協力本部立川出張所（所長 星2陸尉）は8月24日、25日の2日間、昭和公園陸上競技場において開催された市政施行70周年記念昭島市民くじら祭に参加した。このイベントは、多摩川河川敷で新種のくじらの化石が発見されたこととその名を由来し、昭島の夏を彩る風物詩となっており、会場には、模擬店やゲームコーナー、アクシヨンステージが設置され、開場と同時に熱気が一気に湧きあがり、2日間を通して活況を呈した。

自衛隊ブースでは、昭島市防衛協会協賛のもと、自衛官募集相談員とも連携して事務所手作りの的当てやVR体験、また、暑さを吹き飛ばそうと「南極の氷」コーナーを設けて広報活動を実施し、会場を盛り上げた。特に「南極の氷」コーナーは、両日とも30度を超える暑さだったこともあり1番の人気コーナーとなった。

今回は、「自衛隊サマキヤンリスバンド」も作成し、自衛官募集相談員の方々に配布してもらった。リストバンドを腕に付けてもらう子供達は、みんな特別感を感じた様で、カメラを向けると満足げにポーズを決めてくれた。

立川出張所は、今後も組織的募集を最大限に活用し、各団体と連携しながら自衛隊の活動に対する理解と関心を高めていくとしている。

